THE　BISSINES

　あたながホテルを予約して行ったら、「お客様から予約を承っていません」と言われ、予約メールを見直した所、間違って次の日に予約していました。あなたは「すいません・・・間違えてました。」と言い、帰ります。
こうなるとあなたはもう二度とそのホテルには行きたくなくなると思います。
こんな時に一流のフロント係はこう考えています。
『お客さんと自分はどちらが正しいかは意味がなく、今の状況でどうしたら気持ちよくリピーターになってもらえるか？』
つまり客と争っても意味がないことを知っているのです。
ですから一流のフロント係であると瞬時に空いている部屋を探したり、近くのホテルを探してくれたりして、相手が間違っていることを指摘せずにお客のメンツを保ちます。これが稼ぐ人稼げない人の違いを生み出します。（ただし大きな損害が及ぶような場合は反論しなくてはいけませんよ。）

あなたが明日からすること・・・**正しいか正しくないかを議論するのではなく、どうしたらお客さんがうれしいか？を考える。**

Let's English

備えの英語

現在完了形は3つの意味を表せると言い、前回は①の「完了」Have + 過去分詞形を行いました。
①完了　（例）I have eaten lunch
②継続
③経験

「完了」はI have をI've やyou haveをYou'veと言った具合に短縮して下さい。
では完了の文を今度は否定文にしてみましょう。

I haven't eaten lunch 私はまだお昼を食べていません

注意するのが否定文でも現在完了形の文では「**動詞は常に過去分詞形になる**」ということです。

ブッダの教え

ブッダは「なぜこの世はたくさんの苦しみがあるのか？」を考えました。そして出家して厳しい修行の旅に出てしまいました。
しかしながらいくら厳しい修行をしてもこの答えは出ませんでした。
そして「菩提樹」という木の下で瞑想を静かに行い、答えが見つかります。ブッダが35歳の時でした。
「人が苦しむには原因がある、そしてその原因となる事柄は全てつながっている」単純そうですが、非常に深い話です。

知っておいて得しよう
～歯を知ろう②～

　前回は虫歯になるメカニズムをお伝えしましたが、虫歯を防ぐには子供の時に親の使った箸やスプーンで食べ物を与えたり、食べかけのものを子どもに与えないことが一番重要です。何故なら虫歯は「感染症」によるものだからです。親がしっかりと気を使って防がなくてはいけませんが、どうしてもこれは一緒に生活している以上、難しいと思います。親じゃなくてもおばあちゃんやおじいちゃんからも感染することもありますしね。

そこでもう少し現実的に話を進めて行きましょう。虫歯になりやすい箇所というのは概ね決まっています。
●歯と歯の隙間
●歯の根元
●前回治療した時の詰め物との隙間
これはなぜかというと非常に単純で、歯ブラシなどで手入れが行き届きにくいからです。
歯の表面が虫歯になるより、一番多いのが上記に書いた場所です。
この部分を意識して歯をケアしていくことが重要になってきます。